

別表第 2（運用基準第 2．3 関係）

プールに設ける採水口の構造基準

第 1 位 置

標準ポンプ車が容易に採水口に接近できること。

第 2 構 造

1 採水口は、次によること。

- （ 1 ）原則として、2 口以上（ $100\text{ m}^3$  以上の場合は 4 口以上）設けること。
- （ 2 ）取り付け高さは、地盤面から結合部の中心まで、 $0.5\text{ m}$  以上  $1.0\text{ m}$  以下とすること。
- （ 3 ）採水口相互間は、 $30\text{ cm}$  程度離すこと。
- （ 4 ）材質は、JIS H 5111（青銅鑄物）に適合するもの又はこれと同等以上のものとし、結合部は呼び径  $75\text{ mm}$  のめねじとし、JIS B 9912（消防用ねじ式結合金具の結合寸法）に適合すること。
- （ 5 ）覆冠を設け、面板等に「採水口」と表示すること。（別図．3）

2 導水管は、次によること。

- （ 1 ）採水口 1 口ごとの単独配管（口径  $100\text{ mm}$  以上）とすること。
- （ 2 ）標準ポンプ車を使用して、 $1\text{ m}^3/\text{min}$  以上の取水ができるようにすること。
- （ 3 ）吸水口は、相互間  $50\text{ cm}$  以上離すものとし、プールの安全標準指針に定める安全確保の構造基準等を遵守すること。
- （ 4 ）材質は、SUS 304 TPD ステンレス鋼鋼管、JWWA K144（日本水道協会規格品）又は PWA001（配水ポリエチレン管協会規格品）に定める水道配水用ポリエチレン管（PE）とし、PE 継手については JWWA K145 又は、PWA002（同規格品）のうち EF 継手のものを使用する。なお、PE は屋外の露出部分に使用しないこと。
- （ 5 ）配管は必要に応じた腐食を防止するための措置を施すこと。
- （ 6 ）導水管には、必要に応じ「導水管」と表示すること。

第 3 消防水利標識

屋外の採水口付近の見やすい位置に、設置すること。（指導要綱別図．2）  
なお、設置場所については、消防本部警防課と協議のうえ決定すること。

第 4 その他

基準により難しい場合は、その都度協議すること。